

31H 清水 咲良 32H 西田 ほのか 33H 大橋 柚乃
 34H 畑中 和気 35H 辻 ひなの 36H 家 一步希

■課題

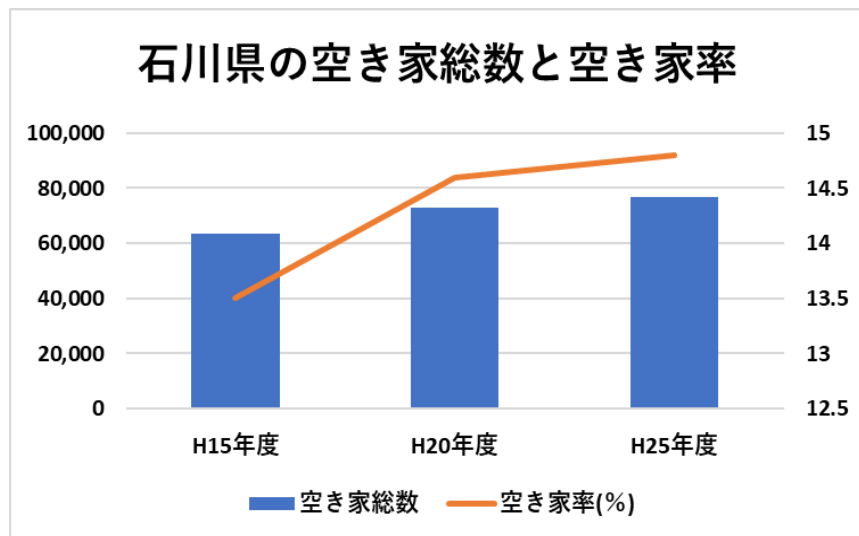
他県からの仕事を終えた高齢者の移入の促進

■解決策

県内で増加している空き家を利用できるような環境づくりをする。

■現状（課題の背景）

左の図より 空き家は年々増加傾向である



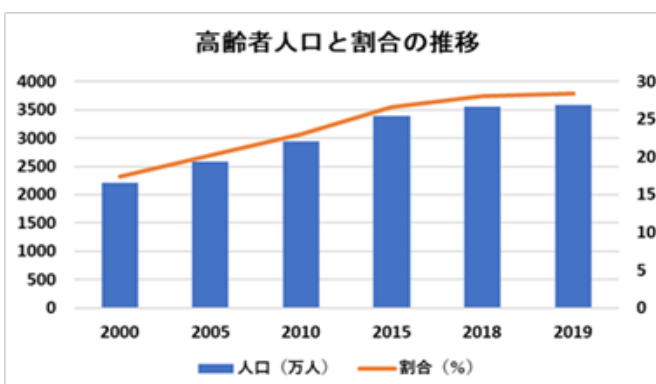
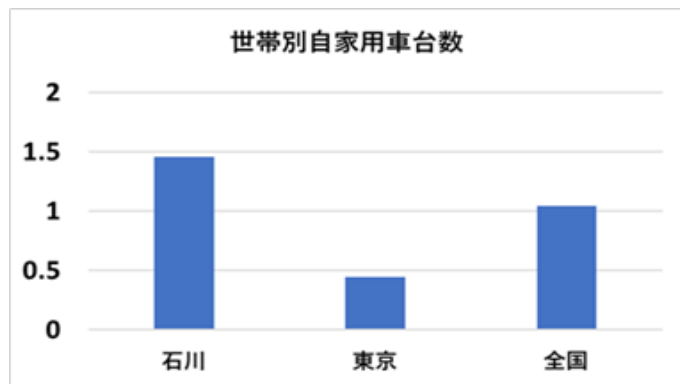
【空き家によるデメリット】

- ① シロアリ・ねずみ等の害虫、害獣の発生。
- ② 悪臭。
- ③ 空き巣や不審者の拠点となりうる。
- ④ 家屋崩壊の危険性。
- ⑤ 「特定空き家」に指定された場合、固定資産税が6倍まで跳ね上がることがある。
- ⑥ 資産としての価値が下がる。

【空き家を利用するメリット】

- ① 自治体から改修工事の補助金が貰える。
 例) 金沢市→空き家改修費の2分の1を市が負担。(限度額50万円)
- ② 一般的な一戸建てを建てるより、費用が安く済む。

全国の空き家率平均→13.6%
 石川県の空き家率→14.5%



<https://iju.ishikawa.jp/akiyacase/>

▼▲空き家改築の例



世帯別自家用車台数が1台を超えていることから、県内での移動には自家用車が必要とされることが分かる。
 つまり、他県と比べ、電車やバスなどでの移動が発達していないということ。
 よって、車を持たない場合、仕事や娯楽が求めにくい。

全国の高齢者数と割合は増加傾向である。そして今後も増加していくと考えられる。つまり、移入のターゲットとしてより効果を見込めるのは高齢者である。

■具体的内容

自治体が空き家の改修、その後の住まいまでをサポートする。
 空き家の活用例：高齢者シェアハウス→徹底したバリアフリーを意識し、高齢者が住みやすい環境。

■効果

空き家を改修し住む人が増えることで過疎地域の活性化と空き家の件数の減少が見込める。
 そして、高齢者自身の健康やゆとりにも繋がる。